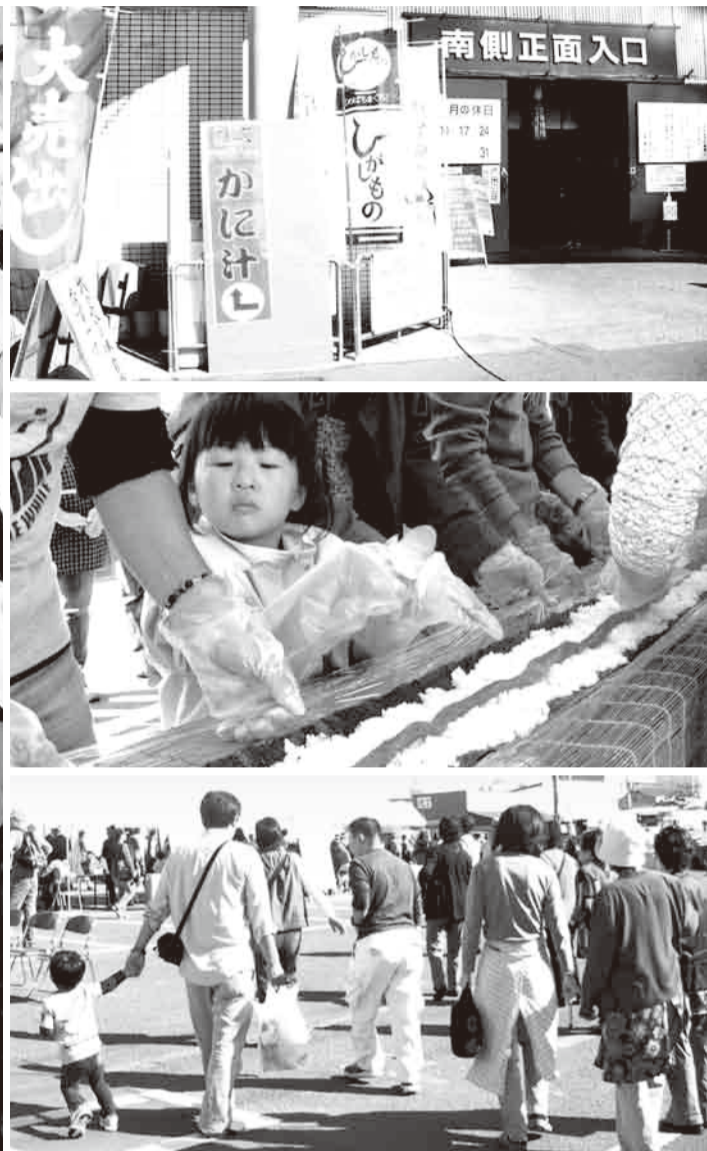


# 塩竈市議会だより

## 平成24年9月定例会号

- 定例会のあらまし、議案審議の概要 P 1
- 一般質問、常任委員長報告、討論 P 2
- 一般質問、決算特別委員長報告 P 3
- 議案等賛否一覧表、決算特別委員長報告、討論、人事 P 4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 Nov.2012 (平成24年11月)  
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>



塩釜魚市場どっと祭  
in 仲卸市場

### 定例会会議日程

(本会議)	9月7日	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件採決
(委員会)	9月10日	総務教育常任委員会
	9月11日	民生常任委員会、総務教育常任委員会
	9月12日	産業建設常任委員会
(本会議)	9月13日	各常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決
(委員会)	9月14日	平成23年度決算特別委員会
	9月18日	平成23年度決算特別委員会
	9月19日	平成23年度決算特別委員会
	9月20日	平成23年度決算特別委員会
(本会議)	9月21日	市政に対する一般質問
	9月24日	市政に対する一般質問
(委員会)	9月25日	議会運営委員会
(本会議)	9月26日	決算特別委員会委員長報告、討論、採決

**定例会のあらまし**  
 平成24年第3回定例会は、9月7日から9月26日までの20日間の会期で開催されました。初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、平成23年度決算及び関連議案については決算特別委員会に、その他の議案については、所管の常任委員会に付託されました。また、人事案件2件が即日審議の上、可決されました。続いて各常任委員会が3日間開催され、付託された議案の審査を行ったのち、本会議2日目に各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案18件を可決しました。さらに決算特別委員会が4日間開催され、付託された決算の審査を行いました。本会議3日目と4日目には、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、当局の見解をただしました。定例会最終日には、決算特別委員長から審査結果の報告を受け、決算及び関連議案3件を可決及び認定し閉会しました。(議案の件名と審議結果は4ページ)

### 東日本大震災の復旧・復興事業費等 補正予算65億9500万円可決

9月定例会の一般・特別・企業会計補正予算額は、65億9500万円で、補正後の予算総額は66億7767万円となりました。一般会計の補正では、東日本大震災復興交付金事業や東日本大震災復興交付金関連事業として、計56億7852万円が追加されました。

特別会計の補正では、国民健康保険事業特別会計の被災者支援策等として5億6519万円など、4つの特別会計で計7億8847万円が追加されました。

また企業会計の補正では、病院事業会計の太陽光パネル蓄電池設備導入事業費として1億190万円、水道事業会計の貞山地区災害復旧事業費として1億1610万円が追加されました。

その他、「塩竈市防災会議条例及び塩竈市災害対策本部条例の一部を改正する条例」など8件の議案が可決されました。

### 平成23年度一般・特別・企業会計決算を認定

平成23年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置された「平成23年度決算特別委員会」は9月14日に開会され、初日に正副委員長の互選を行い、委員長に志子田吉晃委員、副委員長に志賀勝利委員を選出しました。同委員会は4日間にわたる審査の結果、いずれも認定すべきと決しました。本会議4日目に決算特別委員長報告を受け採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員報告及び決算特別委員長報告(3、4ページ)は次のとおりです。

### 監査委員報告概要

一般・特別・企業会計は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、表示された計数は諸帳簿と符号し正確であり、その内容及び予算執行状況についても適正であると認められた。

本年度、一般・特別会計と合わせた実質収支は黒字決算となっているが、普通会計で見ると、実質収支比率・公債費比率は改善しているが、経常収支比率は悪化しており、財政の硬直化が進んでいる。歳入歳出が震災関係で通常年度の予算規模を大きく上回っており、この傾向は今後も続くものと思われる。今後の市政運営にあたっては、塩竈市震災復興計画に基づき被災した市民の生活再建や地域経済の復興に向けて努力されたい。

病院事業会計は、収支均衡の観点から見ると、経常収支で黒字化している。しかし、数値目標を下回っている項目があり、今後も、経費節減や部門別経営分析を積極的に行い、常に経営状況を的確に把握して改革プランの数値目標を達成する努力をお願いしたい。

水道事業会計は、収益的収支は純利益を生じ黒字決算となった。今後も厳しい経営状況となっていくことが予想されることから、これまで以上の業務の効率化による健全経営の維持に努められたい。

# 質 問

本会議における一般質問は、9月21日、24日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは一般質問の中から一つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った一般質問の項目も掲載しています。



新生クラブ  
菊地 進

## 海岸通商店街の振興は

**議員** 海岸通の振興について、800万円の調査費がついたが、その調査の進捗状況について伺いたい。中心市街地の再生なるか、にぎわいが戻るか、重大な関心を持って注意深く見ているが、地権者の考え、反応はどうなっているのか伺いたい。

**市長** 現地で再建している権利者の方々が発起人となり、海岸通まちづくり復興推進協議会による第一回地域懇談会が開催され、66名の権利者のうち27名が参加された。参加者からはスピ

ード感を持って地域の再開を進めていくべきと意見が寄せられ、具体的な検討を進めることについて了承が得られた。その後、発起人の会合を開催し、第二回地権者懇談会を実施し、事業の理解を深めたところであるが、なお一層の理解を得る必要がある。発起人の方々は事業への理解を深めていただくため全ての権利者の方々に呼びかける努力をしているところであり、本市としても計画の実現に向けて積極的な支援を行いたい。



海岸通地区

その他の質問項目

①政治姿勢について

・福祉 ・財政 ・街づくり



新生クラブ  
志子田 吉晃

## 教育委員会の基本的教育理念は

**議員** 大津市のいじめ自殺事件が大きな波紋を呼んでおり、教育に対する関心度がますます高まってきていると考える。本市では、平成24年4月から教育長が交代され、教育委員会人事の刷新を行っているが、教育委員会と基本的教育理念、組織の役割や責任のあり方について、教育長の考えを伺いたい。また、いじめ対策と人格教育について、今後どのように対処されるのかお尋ねしたい。

**教育長** 教育委員会は、5名の委員による合議制により市の教育の基本的枠組み、方針を決定する機関であり、教育長が事務局を指揮監督し各種施策を執行している。今回2名の委員が新しくなり、幅広い施策の展開に向け適切な判断や方向性を出していただけるものと期待している。いじめ問題については、各学校において道徳の時間を通し、さらに円満で調和のとれた人格を目指す人格教育に力を入れていきたい。



公民館本町分室 (教育委員会)

その他の質問項目

①震災復旧復興状況

②環境対策 ③市立病院



新生クラブ  
鎌田 礼二

## 新庁舎建設は

**議員** 震災の影響もあり、多くの市役所機能が、金融機関の転居後の老番館に集約される計画がある。役所機能が分散している現状を考えると仕方がないのかもしれない。しかし、将来的には新庁舎を建設すべきではないか。新庁舎を建設すれば市民の利便性も向上し、事務の効率化も図れる。また何よりも、市民の誇りでもあり、職員にとっても心構えの点で大きな効果があるのではないか。

**市長** まだ全庁的な議論はしていない。将来的な私の考え方としては、本庁舎の理想の姿として、第1には、市民にワンストップサービスを提供できる機能を有すること。第2には、市民が庁舎で活発に交流できる空間を有すること。第3には、市民が誇りに思える市庁舎であるべきこと。その上で特に配慮が必要な機能として、例えばバリアフリー機能やOA化など事務の効率化を図れること、省エネ化などの取り組みが必要と考える。



塩電市役所

その他の質問項目

①市立病院 ②生活保護

③教育



公明党  
浅野 敏江

## 子供たちの食物アレルギー対策は

**議員** アレルギーマーチは、花粉症、アトピー性皮膚炎等、今や国民的疾患である。特に、特定の食物を食べる、触ることなどによって起こる食物アレルギーに苦しんでいる子供たちは本市でも数多く見受けられる。保育所や小中学校における給食の対応は、また、アレルギーに関する正しい情報と急激な発作対応のエピペン(アドレナリン自己注射)の使用研修会等本市の対応は、

**市長** アレルギー対応食については、平成23年度より塩電医師会の協力のもと作成した塩電市食物アレルギー対応マニュアルに基づき、児童生徒の保護者から主治医による学校給食食物アレルギー生活管理指導票を提出いただき、アレルギー食材を正確に把握して除去食の提供を行っている。また、先生方全員による講習会を毎年実施し、エピペンの使用を含め関係者が共通認識で対応に当たっている。健康福祉部長 保育所については、除去食対応要領を定め、診断書に基づき対応している。



給食風景 (清水沢保育所)

その他の質問項目

①定住促進 ②復興

③教育環境

## 常任委員長報告

9月定例会において、議案18件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



**総務教育常任委員長 阿部かほる**  
◎議案第71号、第72号、第79号、85号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。  
〔防災会議条例等の一部改正 要望意見〕  
○本市防災会議に新たに学識経験者の方々等が加わることにしたが、その選任にあたり、今後各界・各層から多様な考え方を取り入れるとともに、女性委員の登用についても努力されたい。  
〔一般会計補正予算 要望意見〕  
○老番館への行政機能の集約は、分散している部・課の集約を図るもので、レイアウトも十分な執務面積が確保され、必要な行政サービスが可能と考えられ、市民の利便性の向上が図られる。また、老番館を核とした、まちの活性化につながるものなので、集約に向けて鋭意取り組みたい。なお、駐車場については、その適切な配置、確保にさらに検討を深められたい。  
○議案提出にあたり、十分な議論ができるよう資料を整えらる。



**産業建設常任委員長 香取嗣雄**

◎議案第69号、第70号、第72号、第74号、第78号は、原案のとおり可決するものと決しました。  
〔一般会計補正予算 要望意見〕  
○宅地防災対策支援事業の拡充については、東日本大震災により地盤沈下した宅地の嵩上げの範囲の拡充、被災宅地に係る擁壁工事等を補助対象とすることにより、被災者の負担軽減、二次被害の防止を図るものである。今後事業の周知徹底に取り組み、被災地の一刻も早い復旧に向け鋭意努められたい。

## 討

**賛成討論概要(議案第71号)**

自衛隊から委員に加わることには防災対策に有意義と考える。新たな委員の意見の反映、市民の生命と安全が確保され実効性の高い計画策定が見込まれる。

**反対討論概要(議案第72号)**

老番館の歴史の経過や再開ビルとして当初の目的との整合性について考察が不十分である。議案提案が拙速であり、市民合意に至る条件が一切なかった。

## 論

また、議会への説明が不十分で、審議すべき資料が出されず、議会軽視ではないか。庁舎移転に対し、市民の声を聞き、現地調査するなど、十分な検討が見られない。

**賛成討論概要(議案第72号)**  
市民の利便性を確保し、行政機能を集約できる場所として、老番館が妥当である。金融機関の移転後も、人々の交流によるにぎわいが期待される。

# 般

※ 一般質問とは … 特定の議案とは関係なく、広く市政に関し説明を求めたり、疑問をただしたりすることをいいます。



自由民主の会  
西村勝男

## 自然エネルギーの活用は

議員 学校施設への太陽光発電設備について、県は「みやぎ環境交付金」(10/10の補助金)を活用し、今年度から平成27年度まで、日常のCO2削減や停電時における自立的な電源を確保することを目的に、小中学校などの指定避難所に防災対応型太陽光発電システムの導入を進めている。子供たちへの環境エネルギー教育の実践、教員・子供たちの省エネ意識向上のために本市でも防災対応型太陽光発電の導入を考えてはいるか。



太陽光発電パネル (市立病院)

- その他の質問項目
- ① 魚市場・水産加工団地振興策
  - ② 災害公営住宅
  - ③ 観光特区



日本共産党塩竈市議団  
小野絹子

## 女川原発再稼働に対する考えは

議員 宮城県は女川原発を抱える県である。女川原発を13メートルの津波が襲ったと記録されている。もしこの津波が17メートル以上であれば、福島原発と紙一重である。福島原発の悲劇は外部電源喪失から始まったが、女川原発は外部電源5系統のうち1系統だけの稼働で、網渡りの電源確保となる。原発事故による放射能から子どもへの命、市民の命、生活や生業を守るため、女川原発再稼働について市長の見解を伺いたい。



放射能濃度測定用システム

- その他の質問項目
- ① 浅海漁業
  - ② 越の浦排水区
  - ③ 西塩釜駅エレベーター設置



日本共産党塩竈市議団  
伊勢由典

## グループ補助金は

議員 東日本大震災で被災した宮城・岩手・福島三県の日本共産党県議団と高橋ちづ子衆議院議員は、8月20日「医療費の免除継続とグループ補助金の継続要件緩和」を政府に要請した。グループ補助金に対し、経済産業副大臣は「努力したい」と答えた。グループ補助金不採択となった業者は「展望が見えない、市はもっと力を入れてほしい」と述べている。市内事業者のグループ補助金申請と補助採択状況、市の役割について聞きたい。



産業復興 (北浜地区)

- その他の質問項目
- ① 本塩釜駅の復興対策
  - ② 教育
  - ③ 障害者への支援策



かいしん  
志賀勝利

## 港湾の振興策は

議員 昨年の11月23日付けの新聞紙上に県の港湾関連の記事で「塩釜港の役割は小型バラ積み船、冷凍水産貨物の取り扱い港とする」旨の記事があった。商工会議所の部会「みなとを考える会」での答申にそった考えであり、水産業界も冷凍水産貨物受け入れのために、貞山埠頭に冷凍冷蔵庫の建設をと考えており、多くの方が賛同を示している。市長はこの件についてどう考えているのか。



貞山埠頭付近

- その他の質問項目
- ① 加工団地の件
  - ② 港町一丁目開発

## 決算特別委員会 委員長報告

各会計決算等の審査にあたっては、決算書等の説明を聴取し、新たに各種資料の提出を求め、慎重に審査を行い、一般・特別会計は賛成多数、病院会計は賛成全員により、それぞれ認定すべきものと決しました。また水道会計も賛成全員により、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。決算に対する主要望・意見の概要は次のとおりです。

### ▼一般会計

◎今後の財政運営にあたっては、財政支援措置を国へ継続して働きかけるとともに、自主財源の根幹をなす市税収入の確保が重要となつていくことから、収納率の向上に引き続き努め、一層の財政健全化に努力されたい。

また、本市の復旧・復興については、今後も「第5次長期総合計画」との整合性を図りながら、「震災復興計画」に基づき、塩竈の再生に向けた復旧・復興に取り組まれ、重点課題の解決のため、一層の努力をされたい。

◎交通安全対策事業は、交通安全施設の整備を図るものであるが、市内道路の総点検を十分に、路側帯のカラー舗装等の整備により、市民の安全確保に努められたい。



決算特別委員長報告

なお、市内小中学校周辺や通学路についても、関係機関と連携を図りつつ、安全確保について十分に対応されたい。

◎精神保健事業は、ストレスへの対処法や、うつ病等の心の病の早期発見・対応、また自殺の予防の推進・強化を図るものである。そのための人材育成を目的に、こころの健康づくりサポーター講座を開催しているが、東日本大震災発生後も、心の病や虚脱感を抱えている人が多いので、本事業を継続し、震災後の心のケアに努められたい。

◎放課後児童クラブ事業は、子育て支援と留守家庭児童の健全育成を図るため、行っているものである。今後も指導員のための研修会の開催や巡回指導を行い、震災時の訓練等の実施についても検討を加えるとともに、各小学校など関係機関と連携を深めながら、児童の安全確保と健全育成に今後も努められたい。

◎母子保健事業は、各種健康や健康教育・健康相談などにより、母子健康の向上を図るものであるが、妊婦一般健診では、母子感染のおそれのあるとされるウイルス検査の実施、また、発達支援相談では、支援関係者と連携を深めながらの一貫した支援等、一定の成果があった。今後各種研修・講演の充実や関係機関、家庭や地域との連携をなお深めるなど、事業の推進を図られたい。

◎ごみ処理事業は、平成18年度から可燃ごみとして取り扱える品目を増やし、また破碎処理方法の改善等の取り組みにより、震災の影響を受けながらも逼迫する埋立処分場の延命化を図ってきている。今後も廃棄物の適正な分別収集及び処理に鋭意取り組まれたい。

(4ページに続く)



# 議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成  
×：議案等に対して反対  
／：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号・件名	公明党			自由民主党			日本共産党 塩釜市議団			かいしん		新生クラブ			審議結果						
		浅野敏江	小野幸男	嶺岸淳一	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男	鈴木昭一	高橋卓也	小野絹子	伊勢由典	曾我ミヨ	田中徳寿	志賀勝利	菊地進		志子田吉晃	鎌田礼二	伊藤栄一	佐藤英治		
9月定例会	認定第1号	平成23年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について	○	○	／	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	認定第2号	平成23年度塩竈市立病院事業会計決算の認定について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第3号	平成23年度塩竈市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
	議案第69号	塩竈市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第70号	塩竈市東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第71号	塩竈市防災会議条例及び塩竈市災害対策本部条例の一部を改正する条例	○	○	／	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第72号	平成24年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
	議案第73号	平成24年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第74号	平成24年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第75号	平成24年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第76号	平成24年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第77号	平成24年度塩竈市立病院事業会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第78号	平成24年度塩竈市水道事業会計補正予算	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第79号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第80号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第81号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第82号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第83号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第84号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第85号	工事請負契約の締結について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第86号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第87号	教育委員会の委員の任命について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第88号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	

**反対討論概要（認定第1号）**  
 一般会計では職員定数削減の一方、臨時職員を大幅増員している。国保事業では国保税が近隣市町の中で最も高い。介護保険事業では市民負担は能力に応じた制度に見直すべき。後期高齢者医療事業は旧制度に戻すべき。下水道事業は平成20年度から値上げを行い23年度決算に反映させている。土地区画整理事業は大手優先の手法である。よって認定第1号に反対する。

**特別会計**  
 ◎交通事業会計は、浦戸住民の生活航路、浦戸諸島への観光客の足として、安全で安定的な運航を行うことが求められている。震災の影響により浦戸地区住民や観光客が減少している。今後も営業収入の確保について、関係機関等と連携しながら、より一層努力されたい。また、浦戸地区を結ぶ公共交通機関として、利用者ニーズに応じたサービスの提供や事業主体のあり方についても検討を深められたい。  
 ◎国民健康保険事業会計は、本市における一人当たりの医療費が県内13市中でも最も高額となっ

◎企業誘致推進事業は、新たな企業の誘致や地元企業の設備投資等の促進より、税収の確保や雇用の創出を行うものであるが、「東日本大震災復興特別区域法」に基づく税制の特例制度を効果的に活用しながら、震災により影響を受けた企業の復興を図るとともに、本市への積極的な企業誘致を図られたい。  
 ◎学校施設管理整備事業は、市内小中学校の建物の耐震工事が完了したが、今後は天井、照明器具等の非構造部材の耐震対策が重要なので、その耐震化についても検討を進められ、良好な教育環境づくりに向け、鋭意努力されたい。

**賛成討論概要（認定第1号）**  
 一般会計は短期間に多くの震災関連事業を立ち上げ成果を上げた決算である。国保事業と介護保険事業は被災者に対する本市独自の減免に取り組んでいる。後期高齢者医療事業も被災者の保険料減免に対応している。下水道事業は災害復旧に精力的に取り組み収支均衡が図られている。土地区画整理事業では新しい海辺の都市空間が創出された。よって認定第1号に賛成する。

**論**  
 ◎介護保険事業会計は、要支援・要介護認定者のうち認知症を要因とした方が増加している。認知症について正しく理解し、地域でさりげない見守りややさしい声がけをする「認知症サポーター」を養成する取り組みを行っている。今後はサポーター養成講座の対象者を若者なども含め幅広く設定すること等についても検討を深められ、安

定している。今後は、特定健康診査や特定保健指導、国保健康づくり事業のさらなる充実、健康保持増進、疾病の早期発見のための方法などについて市民への啓発活動に取り組み、医療費の削減に努力されたい。  
 ◎魚市場事業会計は、魚価の低迷や魚食離れに加え、震災後は放射能汚染や風評被害等の新たな課題が発生し、漁業の経営環境が悪化している。本市独自の水産振興に係る取り組みや漁船誘致等に努められ、水揚げの確保と会計の健全化に向け鋭意取り組まれたい。  
 ◎下水道事業会計は、大雨時における冠水防止並びに浸水の解消が求められている。今後とも豪雨対策を図るため、継続してポンプ施設や貯留施設等の整備に努めるとともに、施設の耐震化を進めるなど「水害に強いまちづくり」に向け努力されたい。

**編集後記**  
 市議会だより第189号をお届けいたします。  
 議会編集委員会  
 委員長 浅野敏江  
 副委員長 伊勢由典  
 委員 阿部かほる  
 委員 鎌田礼二

**人事**  
 今定例会において、次の方々を選任することに同意しました。  
 ◎塩竈市教育委員会の委員  
 柴田仁市郎氏  
 池野暢子氏  
 ◎塩竈市固定資産評価審査委員会の委員  
 佐々木良子氏

**企業会計**  
 ◎市立病院事業会計は、改革プランの3年目にあたり、初めの2年間は現金収支の黒字化、さらに平成23年度は経常収支の黒字化を達成した。  
 今後は市立病院の安定経営のため、医師の確保に継続して努めるとともに、職員のさらなる資質向上のため、各種の職員研修などを有効に活用し、質の高い医療の提供等、地域医療の充実に向け職員一丸となって取り組まれたい。  
 また、駐車場の確保、会計の待ち時間の短縮などサービス向上に向け、鋭意努力されたい。  
 ◎水道事業会計は、当年度純利益を生じたものの、東日本大震災の影響や水需要の減少など、今後厳しい環境が見込まれることから、事業のなお一層の効率化を図られ、安心・安全な水の安定供給と健全経営の維持に努力されたい。

次回の定例会は  
**12月7日(金)**  
 開会予定です